シリコンハードディスク

SHD-UME シリーズ

ユーザーズマニュアル

< 注意 > フォーマット（初期化）について

フォーマットについては、画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」を参照してください。なお、本製品は、出荷時に FAT32 形式でフォーマットされています。

- **Windows や Mac OS X 10.4 以降で使用される場合は、フォーマットせずにそのままお使いいただけます。**
- **Mac OS X 10.3 以前では、お使いになる場合に Mac OS 拡張形式で初期化してください。**

※ Windows Vista / XP / 2000 をお使いの方へ
本製品を再フォーマットする場合は、FAT32 形式でフォーマットすることをお勧めします。NTFS 形式でフォーマットすると、写真等のファイルを複数書き込むときに時間がかかることがあります。

インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C: ハードディスク
D:CD-ROM ドライブ

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

目次

1

各部の名称

各部の名称を説明しています。

各部の名称

2 セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

セットアップ

別紙「はじめにお読みください」の手順で本製品をパソコンに取り付けてください。自動的にOS 標準のドライバがインストールされ、本製品が認識されます。

セットアップ時の注意

Windows、Mac OS 共通の注意

● 本製品は、出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）で論理フォーマットされています。
Windows や Mac OS X 10.4 以降で使用される場合は、そのままお使いください。
Mac OS X 10.3 以前をお使いの場合は、Mac OS 拡張形式で初期化してください。
【画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」】

● **本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前に初期化（フォーマット）してください。**

※ **本製品は複数の領域に分けずに使用することをお勧めします。複数の領域に分けると、写真等のファイルを複数書き込む場合、時間がかかることがあります。**

※ **画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」には対応 OS 以外も含まれていますが、対応 OS 以外ではフォーマットしないでください。**

● **フォーマット方法は、画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」を参照してください。**

Windows の注意

●**Windows2000 を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。**
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

次のページへ続く

●本製品のドライバがインストールされると、［デバイス マネージャ］（※）に次のデバイスが追加されます。

※［デバイス マネージャ］は次の方法で表示できます。

Windows Vista ....［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→ [管理] をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら [続行] をクリック→ [デバイスマネージャ] をクリック

WindowsXP......................................［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

Windows2000 ....［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows Vista	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
WindowsXP/2000	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	ドライブユニット名　USB Device

Mac OS の注意

●本製品をパソコンに接続すると、アイコン（　）がデスクトップに追加されます。

3 使いかた

使用上の注意

⚠注意 ・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、シリコンハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。
・本製品のアクセスしているときは、絶対に USB ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
・パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

● MacOS X 10.3 以前をご使用の方は、本製品を使用する前に必ず初期化（フォーマット）してください。**【画面で見るマニュアル「フォーマット／メンテナンスガイド」】**

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも本製品を取り外しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。**【P8「本製品の取り外しかた」】**

⚠注意 本製品にアクセスしているとき（アクセスランプ点滅しているとき）は、絶対に本製品を取り外さないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。

● 複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

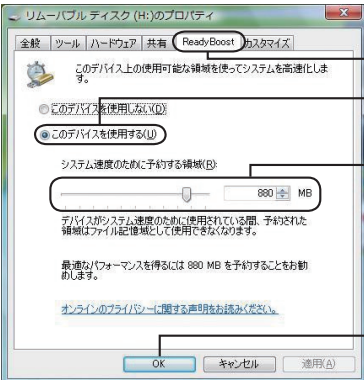
● 本製品に物を立てかけないでください。
故障の原因となる恐れがあります。

● Windows Vista/XP 搭載のパソコンで使用する場合
本製品を USB1.1 準拠の USB コネクタに接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

● FAT32 形式のディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。Windows Vista/XP/2000 や Mac OS をお使いの場合には、NTFS 形式や MacOS 拡張形式で本製品を初期化（フォーマット）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● Macintosh でリカバリするときは、本製品を取り外してください。
取り外さないとリカバリできないことがあります。

● MS-DOS プロンプトでのファイル操作（フォーマット、コピーなど）は行わないでください 。

Windows ReadyBoost の設定（Windows Vista のみ）

Windows Vista をお使いの場合、Windows ReadyBoost の設定を行えます。Windows ReadyBoost とは、本製品をパソコンのメモリとして使用して、ソフトウェアのアクセスを高速化する機能です。

ご注意

- **お買い求めいただいた製品によっては、Windows ReadyBoost に対応していない場合がございます。Windows ReadyBoost への対応情報は、弊社ホームページ（buffalo.jp）にてご確認ください。**
  対応情報は、すべての環境での動作を保証するものではありません。パソコンの環境によっては使用できない場合もあります。
- **256MB 以下の製品では、Windows ReadyBoost を使用できません。**
  512MB 以上のモデルをお使いください。

設定手順

1 **［（スタート）］-［コンピュータ］をクリックします。**

2 **［リムーバブルディスク］（本製品）を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3

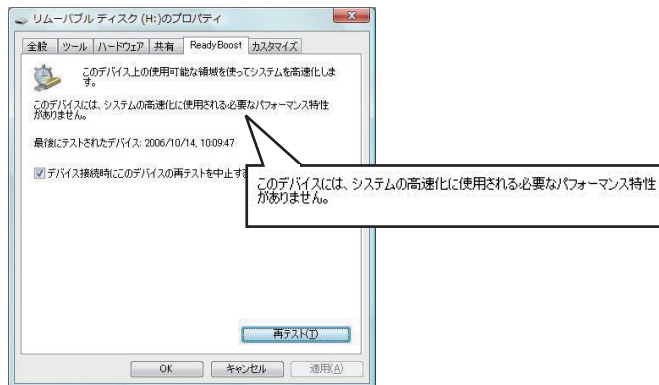
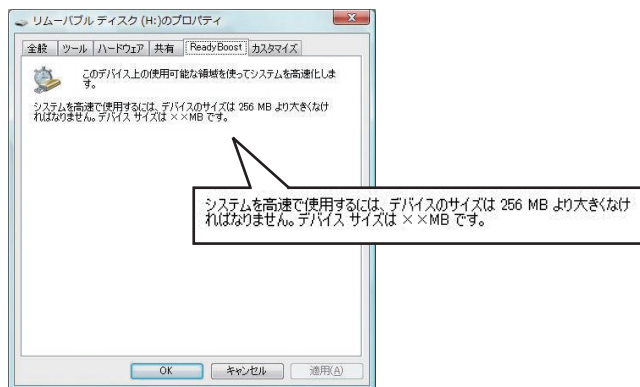
①［ReadyBoost］をクリックします。

②「このデバイスを使用する」にチェックマーク（・）を付けます。

③パソコンのメモリとして使用する領域（容量）を指定します。
※ Windows ReadyBoost が有効な間は、指定した領域にデータを保存できなくなります。

④［OK］をクリックします。

［ReadyBoost］をクリックしても手順 3 の画面が表示されないときは？

以下の画面が表示された場合は、Windows ReadyBoost に対応していない製品を使用しているか、256MB 以下の製品を使用しています。この場合、Windows ReadyBoost を有効にできません。［OK］をクリックして、そのままお使いください。

※ ReadyBoost 対応製品でも上の画面が表示されることがあります。その場合は、再テストを 2 ～ 3 回行ってください。再テストは、画面右下の [再テスト] をクリックすると実行できます。
再テスト 2 ～ 3 回行っても表示が変わらない場合、接続した USB ポートの転送速度が遅い等の原因が考えられます。パソコンに直接接続したり、他のパソコンでお試しください。（ReadyBoost の対応情報は、すべての環境での動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。）

以上で Windows ReadyBoost の設定は完了です。

本製品の取り外しかた

パソコンの電源が OFF のとき

そのままパソコンから本製品を取り外してください。

パソコンの電源が ON のとき

使用している OS によって、取り外しかたが異なります。次の手順で取り外してください。

⚠注意 **手順を守らないで取り外すと、本製品や記録されたデータが破損する恐れがあります。**

■ Windows

1 タスクトレイのアイコンをクリックします。

※が表示されていない場合は、アイコン（、、のいずれか）をクリックします。

2 [本製品を取り外す] を選択します。

※アイコン（、、のいずれか）をクリックしたときは、次の項目をクリックします。

Windows Vista.........................［USB 大容量記憶装置 - ドライブ (X:) を安全に取り外します］
Windows XP..............................［USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (X:) を安全に取り外します］
Windows 2000..........................［USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ (X:) を停止します］

下線部 X は、本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。ユニットドライブ名は製品によって異なります。

以降は、画面の指示に従って本製品を取り外します。

※上記の手順で取り外せない場合は、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

■ Macintosh

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。**

1 本製品のアクセスランプが点滅していないことを確認し、デスクトップにある本製品のアイコン（ ）をゴミ箱（ ）にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

左の画面は、Mac OS Xの例です。Mac OS Xの場合、本製品のアイコンをドラッグすると、ゴミ箱のアイコンが に変わります。

2 本製品を取り外します。

以上で、本製品の取り外しは完了です。

SHD-UME シリーズ ユーザーズマニュアル
2008 年 5 月 16 日 初版発行
発行　　株式会社バッファロー